

【問合先】桂川町社会教育課文化財振興係
☎65・2900

題字：桂川中学校美術部
中村 絵里佳 さん

■「今の学年で

つけなければならぬ力」を

桂川小学校校長 栗原 聡

6月に学校を再開し、教育目標の「自ら考え 豊かな心で行動できる児童の育成」の実現に向け、職員を「心づくり部」「体づくり部」「知恵づくり部」の三部に分け取り組んできました。

学校が再開されたものの、コロナウィルス感染拡大防止のため、地域行事が次々と中止となり、桂川町の「人・物・こと」を活用しての体験的な学習ができませんでした。

また、教育活動に制限があるため、「新一年生の歓迎遠足」や「秋の遠足」「4・5年生の社会科見学旅行」「5年生の二泊三日の宿泊体験学習」、そして何より「運動会」も実施できませんでした。

そのため、子どもたちの「学習成果の発表の場」「司会進行など活躍の場」「昨年よりも成長した姿」を保護者の皆様や地域の皆様に披露することができず、とても残念に思います。

しかし、保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、10月に学年別の「体育の学習発表会」は実施することがで

きました。

今年度もあ問わずか、残された学校生活において、「今の学年でつけなければならぬ力」は確実に身につけて、次の学年に送り出したいと取り組んでいます。

特に6年生は、残り少ない小学校生活で、桂川町の宝である「王塚太鼓」や今年度、取り入れられた「プログラミング学習」の活動を行っています。

現在もコロナウィルスの感染拡大防止により教育活動が制限されていますが、子どもたちに「学んでほしい力」をつけるため取り組んで参ります。

今後とも保護者の皆様・地域の皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。

教育目標

自ら考え

豊かな心で行動できる

児童の育成



■地域と連携した体験活動

桂川東小学校校長 金田 泰弘

今年度から全面実施の新学期指導要領では、体験活動は言語活動とともに重要なものとして位置付けられています。そこで、本校で今年度実施した体験活動をご紹介します。

十一月に六年生が、六年保護者、一〜五年生に向けて王塚太鼓の発表を行いました。今年も王塚太鼓保存会の三名の方から指導を受け、教室ではタイヤを使った自主練習にも励みました。迫力と一体感のある演奏に圧倒され、「かっこいい」「上手やったね」という声が聞かれました。真剣に取り組んだ成果が見られました。

二年生は、年間を通して嘉穂総合高校地球環境システム科三年生の皆さんの指導を受けながら、なすびやピーマンなど何種類もの野菜を育てました。十二月には大きな白菜を嬉しそうにかかえて帰っていました。一年生は、桂川幼稚園ひまわり組(年長)園児と一緒に、おはよう会やアンビシャス広場委員の皆様の指導を受け、さつまいもを育てました。一年生も園児も収穫したばかりの大きないもを手にしてっこりでした。

三年生は、新しくなった桂川消防署で、救急車や消防車に乗ったり、担架で運ばれたり、日頃できない体験ができました。四年生は、教室で桂川町社会福祉協議会の方からみんなが安心して暮らせるまちづくりのお話を聞き、学校内でアイマスク、点字、車いす体験をしました。五年生は、地域と言うにはやや遠いのですが、初めての体験になるリモートでの日産九州工場見学を行いました。これからも、各教科の特質に応じた体験活動を積極的に実施し、児童が主体的に挑戦したり、様々な人々と協働したりできるようにしていきたいと考えています。

